

昭和45年（1970）、京都市は庁内に文化財保護課を発足させました。このため令和2年（2020）は、課発足から50年の節目にあたります。これを記念して、今回の展示では、文化財保護行政のこれまでを振り返るとともに、これからの方向性を「京都市文化財保護課の挑戦」として紹介します。

「京都文化遺産」とは、有形・無形、指定・未指定に関わらず、京都を特徴付ける貴重な歴史的財産を表す言葉として提唱されました。今回は、京都文化遺産のうち、千年の都で育まれた都市文化と、地域に根差した人々の生活文化のつながりに焦点をあて、関連する民具や出土品、建造物関係資料を中心として展示します。



今宮祭 蓮鉢(上京区芝大宮町所蔵)

第Ⅰ部 京都市文化財保護課とは？

第Ⅱ部 京都市文化財保護課の歩み

第Ⅲ部 京都市に生きる文化遺産

息づく文化 民俗文化財×埋蔵文化財

伏見区の水垂遺跡からは、古墳時代（3～6世紀）の農具や紡織具が出土しました。これらを山村の民具と比較すると、よく似た姿でありながら、細かい違いに地域色や時代背景をみることができます。ここでは、京都が「都」となる前の、生活文化に焦点をあてます。

【主な展示品】

- 水垂遺跡出土木製品（古墳時代）
- 久多の山村生活用具（近代／市指定有形民俗文化財）



久多の山村生活用具 むしろ編み機

醸す文化 民俗文化財×歴史資料×埋蔵文化財

遷都後、平安宮内には造酒司が置かれていましたが、やがて市中でも酒造りが行われるようになります。ここでは京都を代表する伏見の酒造用具と、中世の酒造遺構を紹介します。



下京区上柳町 甕倉跡 (室町時代)

【主な展示品】

- 伏見の酒造用具（近代／月桂冠大倉記念館所蔵／市指定有形民俗文化財）
- 伏見酒造図（京都市歴史資料館所蔵）
- 京都市内の酒造遺構（鎌倉～室町時代）※パネル解説

願う文化 民俗文化財×建造物×埋蔵文化財

豊かな暮らしと心の平安を願う人々の足跡を、奉納絵馬や西国三十三カ所巡礼の資料からたどります。



平安京左京八条三坊跡出土土馬（平安時代）

【主な展示品】

- 平安京跡出土土馬（平安時代）
- 平安京跡出土絵馬（平安時代）
- 御土居跡出土木札（江戸時代）

第Ⅳ部 未来へ活かす京都文化遺産

保護・活用・継承

遺跡や建造物を保護する活動や、祭を継承する取り組みについて紹介します。

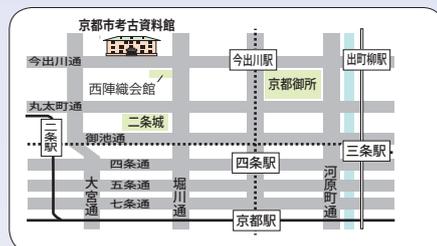
【主な展示品】

- 史跡西寺跡軒瓦（平安時代）
- 史跡栢杜遺跡建築部材（平安時代～鎌倉時代）
- 蓮鉢（江戸時代／上京区芝大宮町所蔵）
- 橘鉢（江戸時代／中京区四丁目所蔵）



修復を終えた岩倉具視幽棲旧宅（江戸時代～）

ほか



京都市考古資料館

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265-1
電話 (075) 432-3245